

# 政策シート 政策名 10 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定

予算費目名 01 中央卸売市場事業特別会計

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

### (2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

・市民が安全な食品を安心して手に入れることができるよう、卸売市場の機能を保全する。  
・卸売市場法の基本方針や社会環境の変化に対応した施設整備と持続可能な管理・運営体制の実現のため再整備基本計画を策定する。

### (3) 関連するSDGsのゴール

② 飢餓	⑩ 生産・消費								
------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	685,028	592,391	537,861	730,251	645,215	
決算	662,071	592,391	537,861	697,485		
人件費(報酬等)(A)	367	357	153	128	153	
人件費(人工分)(B)	73,600	74,400	76,400	84,200	84,200	
年間経費(予算又は決算+A+B)	736,038	667,148	614,414	781,813	729,568	

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
市場経営展望を経営戦略へ統合し策定する		目標	策定	策定				見直し
		実績	内部調整	策定				
卸売市場法改正による業務条例の改正		目標	改正					
		実績	改正					
市場の再整備		目標		課題整理	基本構想	基本計画	基本計画	事業者選定
		実績		あり方検討	基本構想(素案)	基本構想(策定)		

## 4 前年度(2022年度)政策評価

### (1) 前年度(2022年度)実施内容

・再整備基本構想(案)について、パブリックコメントを実施するとともに、各区協議会において事業概要の説明や意見聴取を行い、議会報告を経て再整備基本構想の策定に至った。  
・再整備基本構想における将来ビジョンやコンセプトの実現及び再整備方針等の具体化に向けて、再整備基本計画を策定するため、民間活力導入可能性調査を含めた支援事業者を選定した。  
・市場の附属機関である開設運営協議会及び市場の事業者で組織する「市場のあり方研究会」を開催し、基本構想や基本計画の進捗及び内容説明を行い、意見をいただくとともに、理解を図った。

### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<p>・新型コロナウイルス感染症拡大の状況においても安全で安心な生鮮食料品等を市民に安定供給する使命を果たすことができた。</p> <p>・あり方研究会や市場関係者の意向調査などを踏まえ、再整備方針や施設整備コンセプトを設定し、市場内・市内の合意形成のもと、議会報告を経て再整備基本構想を策定した。</p> <p>・再整備による事業着手までには、期間を要することから、既存施設の修繕、整備等維持管理経費の増加が懸念されるため、優先順位を絞った施設整備工事を実施していく。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	中央卸売市場事業	-	○		717,205	634,252	7.8	4.0	1.0	4.0	153
2	中央卸売市場デジタル運営経費	-			12,363	10,963	0.2				
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					729,568	645,215	8.0	4.0	1.0	4.0	153

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 01 中央卸売市場事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

・市民が安全な食品を安心して手に入れることができるよう、卸売市場の機能を保全する。  
 ・卸売市場法の基本方針や社会環境の変化に対応した施設整備と持続可能な管理・運営体制の実現のため再整備基本計画を策定する。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2015	—	特別会計	自治事務(その他)	卸売市場法・浜松市中央卸売市場業務条例

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

② 飢餓	⑩ 生産・消費								
事業とゴールの関連性	・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場運営を行い、市場の適正な機能を確保する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	685,028	592,391	529,369	715,976	634,252	
	決算	662,071	592,391	529,369	683,618		
	国・県支出						
	市債						
	その他	255,161	235,530	162,730	344,517	294,330	
	一般財源	406,910	356,861	366,639	339,101	339,922	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)	367	357	153	128	153	
	人件費(人工分)(B)	73,600	74,400	75,000	82,800	82,800	
人工	正規	7.0	7.0	6.8	7.8	7.8	
	再任用(31h)	3.0	4.0	3.0	4.0	4.0	
	再任用(26h)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	会計年度任用職員(人事課予算)	4.0	3.0	5.0	4.0	4.0	
年間経費(予算又は決算+A+B)		736,038	667,148	604,522	766,546	717,205	

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
市場経営展望を経営戦略へ統合し策定する		目標	策定	策定				見直し
		実績	内部調整	策定				
卸売市場法改正による業務条例の改正		目標	改正					
		実績	改正					
市場の再整備		目標		課題整理	基本構想	基本計画	基本計画	事業者選定
		実績		あり方検討	基本構想(素案)	基本構想(策定)		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を進めた。
- ・市場の附属機関である開設運営協議会を3回開催し、基本構想及び基本計画の進捗及び内容説明を実施した。
- ・市場の事業者で組織する「市場のあり方研究会」を2回(4.1月)開催し、基本構想(案)の進捗、内容説明や基本計画策定の進め方について説明を行い周知を図った。
- ・令和4年9月、市場再整備基本構想を策定した。
- ・市場再整備について、再整備基本構想における将来ビジョンやコンセプトの実現及び再整備方針等の具体化に向けて、再整備基本計画を策定するため、民間活力導入可能性調査を含めた支援事業者をプロポーザルにて選定し、卸・仲卸業者全社に対して個別ヒアリングを実施した。



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新型コロナウイルス感染拡大の中、場内の感染予防対策を徹底し、市民へ生鮮食料品を継続して供給できた。
- ・老朽化の著しい施設・設備の適切な維持管理・保守に努め、市場の円滑な管理運営を行うことができた。
- ・基本構想について、開設運営協議会、あり方研究会等を開催し、策定に至ることができた。
- ・パブリックコメントや各区協議会での説明を実施し、意見や提案を受け、基本構想に反映することができた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大や燃料費高騰は場内事業者の経営状況の悪化に繋がるため、売上高の減少・経費負担増加による市場運営への影響を懸念するとともに、場内事業者への支援等の検討も必要である。
- ・ウイズコロナに対応していく市場取引の緩和、市場DXの取組みを検討する必要がある。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理及び施設整備を行い適切な管理運営を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、場内施設16か所にアルコール消毒液を設置するとともに、感染者が発生した場合の事業者との連絡体制を確立し、拡大防止を図ることができたことから、引き続き情報提供と注意喚起に取り組んでいく。

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工  拡大

- ・生鮮食料品流通の拠点として、適切な施設の維持管理及び施設整備を継続し管理運営を進める。
- ・再整備基本計画について、市場内のあり方研究会や部門別ワーキングの開催により、合意形成を図る。
- ・再整備基本計画策定後は、通常業務に加え、新たに事業者選定業務、国交付金業務や使用料算定業務など、事業費、人工の増加が見込まれる。



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・引き続き生鮮食料品等の流通拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場の管理運営を行う。
- ・あり方研究会の部門別ワーキング会議や民間事業者ヒアリングなどを踏まえ、余剰地活用や工事実施手順等に係る計画素案を作成する。
- ・再整備基本構想における将来ビジョンやコンセプトの実現及び再整備方針等の具体化に向けて、市場内・庁内の合意形成のもと、議会報告を経て再整備基本計画を策定する。

## 事業シート (事業名) 02 中央卸売市場デジタル運営経費

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

- 卸売市場の機能の保全と防犯上の安全確保のため中央監視装置・自動検針システムの維持管理を行う。
- 卸売市場の公正公平な売買取引の確保のため、卸売取引の販売原票等電子システムの維持管理を行う。
- 24時間稼働の卸売市場の施設・設備の不具合に常時対応できるようICTを活用した維持管理を行う。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021		特別会計	自治事務(その他)	卸売市場法・浜松市中央卸売市場業務条例

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略		(施策)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

② 飢餓	⑩ 生産・消費								
事業とゴールの 関連性	・生鮮食料品流通の拠点として、施設の適切な維持管理・保守により円滑な市場運営を行い、市場の適正な機能を確保する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			8,492	14,275	10,963	
	決算			8,492	13,867		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			8,492	13,867	10,963	
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				1,400	1,400	1,400	
人工	正規			0.2	0.2	0.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				9,892	15,267	12,363	

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
中央監視装置・自動検針システムの適正管理		目標			適正	適正	適正	適正
		実績			適正	適正		
販売原票電子システムの適正データ管理		目標			適正	適正	適正	適正
		実績			適正	適正		
タブレット端末による原因究明満足度(%)		目標				100	100	100
		実績				100		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・中央監視装置、自動検針システムを委託により定期的な点検、部品交換を実施し(年1回)、機械装置の正常動作を図った。
- ・販売原票電子システム保守を委託により定期的実施し、事業者から提出される卸売のデータの適正な管理を行った。
- ・2023(令和5)年1月から導入したタブレット端末は、施設の不具合箇所の確認やWeb会議で使用した。



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・中央監視装置・自動検針システムの保守点検により、正常動作の維持ができた。
- ・販売原票電子システムの保守運用に努め、適正な販売原票データの管理を図ることができた。
- ・タブレット端末を使用し、施設の不具合箇所の課内共有や施設管理業務委託者などと共有することができた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大や燃料費高騰は場内事業者の経営状況の悪化に繋がるため、売上高の減少・経費負担増加による市場運営への影響を懸念するとともに、場内事業者への支援等の検討も必要である。
- ・ウイズコロナに対応していく市場取引の緩和、市場DXの取組みを検討する必要がある。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・中央監視装置・自動検針システムの保守点検により、正常動作の維持ができたことから、引き続き適正かつ効率的な維持管理を図っていく。
- ・販売原票電子システムの保守運用に努め、適正な販売原票データの管理を図ることができたことから、引き続き適正かつ効率的な運用を図っていく。

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・中央監視装置・自動検針システム保守は、築44年経過の市場施設・設備の維持管理に重要であり、市場再整備が完了するまでは、現システムの保持のため、部品消耗品の交換など定期的に行っていく。
- ・24時間稼働の市場の老朽化から、施設・設備の不具合の発生時、早期の原因究明のため、タブレット端末を用いた対応を行っていく。



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・引き続き生鮮食料品等の流通拠点として、施設の適切な維持管理・保守をタブレット端末等の導入によって、さらに、円滑な市場の管理運営を行う。



政策シート 政策名 10 卸売市場の活性化による市民の食生活の安定

予算費目名 02 と畜場・市場事業特別会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

(3) 関連するSDGsのゴール

②飢餓									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	339,746	348,700	320,200	362,874	372,000	
決算	317,342	331,451	307,292	341,230		
人件費(報酬等)(A)	304	21	21	283	305	
人件費(人工分)(B)	42,200	38,000	37,200	37,200	37,200	
年間経費(予算又は決算+A+B)	359,846	369,472	344,513	378,713	409,505	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
市場取扱高(千円)	千円	目標	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
		実績	5,173,075	5,454,458	5,379,622	5,848,081		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現した。	
課題	生産する食肉の品質を高め、家畜の集荷対策にプラスに働くために機械設備の老朽化対策を実施する。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	と畜場・市場事業	-	○		409,505	372,000	4.0	1.0		2.0	305
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					409,505	372,000	4.0	1.0		2.0	305

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800



## 事業シート (事業名) 01 と畜場・市場事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

市民の食のニーズに応えるため、地産地消を基本に良質な食肉を市民に供給し、安全・安心な食の充実を実現する。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1953	-	特別会計	自治事務(その他)	と畜場法・卸売市場法・浜松市と畜場条例・浜松市地方卸売市場業務条例

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

	② 飢餓								
事業とゴールの関連性	市場による公平・公正な食肉の価格成形を確保することにより、継続的に安定した食料を供給する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	339,746	348,700	320,200	362,874	372,000	
	決算	317,342	331,451	307,292	341,230		
	国・県支出						
	市債						
	その他	5,088	4,565	4,881	6,654	6,274	
	一般財源	152,563	159,792	153,564	149,221	151,704	
	一般会計繰入金	159,691	167,094	148,847	185,355	214,022	
人件費(報酬等)(A)	304	21	21	283	305		
人件費(人工分)(B)	42,200	38,000	37,200	37,200	37,200		
人工	正規	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
	再任用(31h)	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		1.0	2.0	2.0	2.0	
年間経費(予算又は決算+A+B)		359,846	369,472	344,513	378,713	409,505	

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
市場取扱高(千円)		目標	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
		実績	5,173,075	5,454,458	5,379,622	5,848,081		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

総務費  
**【と畜】** 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。  
**【セリ】** 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。  
**【品質管理】** 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。  
**【トレーサビリティ】** 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。  
 公債費 設備投資による借り入れの返済  
 予備費



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

**(1) 事業の成果と課題**  
 指標の達成度   
 総務費  
**【と畜】** 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させた。  
**【セリ】** 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督した結果、守られた。  
**【品質管理】** 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給してした。  
**【トレーサビリティ】** 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行った。  
 課題  
 生産する食肉の品質を高め、家畜の集荷対策にプラスに働くために機械設備の老朽化対策を実施する。

**(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)**



#### 6 事業の見直し (Action)

**(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)**  
 大項目  小項目  /  事業費  人工   
 事業全体の人工を見直し、施設管理業務に関する事務兼機械操作員を再任用職員(1人工)から会計年度任用職員(1人工)にした。  
 日常の設備点検と老朽化対策修繕を実施したため、操業に影響する障害が発生することなくと畜場及び市場業務を運営することができた。

**(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)**  
 大項目  小項目  /  事業費  人工   
 施設設備の保守を継続して行っていく。より安全・安心な食肉の供給拠点としてその機能を果たすべく、日々の検針、点検等から得るデータを基に老朽化対策修繕を進めていく。



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

総務費  
**【と畜】** 地域の産地から牛や豚を集め、と畜場法で定められた食肉衛生検査に合格したものを枝肉や部分肉として流通させる。  
**【セリ】** 食肉の健全な価格形成のため、定められたせり割合を遵守するよう指導・監督する。  
**【品質管理】** 品質管理者による適切な管理で、市民に安全な食肉を供給していく。  
**【トレーサビリティ】** 個体識別番号や産地などの情報を消費者に伝わるよう食肉に識別票を付けて販売を行う。  
**【新食肉センター再編整備事業に対する負担金】**本市食肉地方卸売市場と小笠食肉センターを静岡県食肉センター再編推進協議会が事業実施主体及び静岡県が施設整備主体となり小笠において再編・整備する事業を支援し、食肉の安定供給と畜産振興を図る。  
 公債費 設備投資による借り入れの返済  
 予備費